

福島県郡山地区木材木工工業団地協同組合様が「SDGs宣言書」を策定されました！ ～「とうほうSDGsサポートサービス」による「SDGs宣言書」策定支援～

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、お客さまのSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）に関する取組みを支援するため、「とうほうSDGsサポートサービス（以下、本サービスとします）」をご提供しております。

この度、本サービスの利用を通じ、福島県郡山地区木材木工工業団地協同組合様が「SDGs宣言書」を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

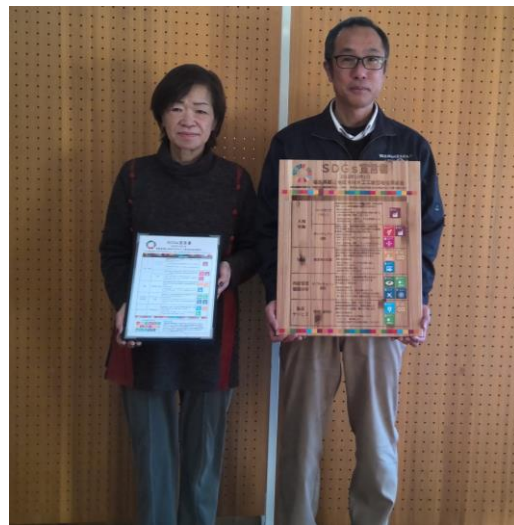
本サービスは、対話を通してお客さまのSDGsへの取組み状況の確認と、経営課題の見える化を行なうことで、お客さまの課題解決に向けた具体的な取組みをサポートしております。

また、診断結果に基づく「SDGs宣言書」の作成により、お客さまの特色ある取組みを発信するとともに、社会全体でのSDGsの機運も高めております。

当行では、引続きお客さまのニーズに応じたサービスを提供し、お客さまの成長・発展、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

発行団体	福島県郡山地区木材木工工業団地協同組合
代表者	代表理事 水沼 ひさ子
所在地	福島県郡山市安積町成田字三渡24
事業内容	プレカット事業、木製品加工・製造
団体概要	<ul style="list-style-type: none"> ●当組合は設立50年超、木材・木工関係業者14社で構成されております。 ●木工関係の相談は組合内でワンストップ対応が可能になっております。 ●「無いのなら造る」をモットーに、お客さまのあらゆる要望にお応えしてまいります。 ●発想と技術を掛け合わせて、福島県産木材を使用した木製品の可能性を広げてまいります。



宣言書を手にする水沼理事長（左）と伊藤専務（右）



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。



SDGs宣言書

2023年10月1日

福島県郡山地区木材木工工業団地協同組合

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた取組みを以下の通り宣言します。

カテゴリ	テーマ	具体的な取組み	SDGsゴール
人権・労働	ワークライフ バランス	組合職員全員が働きやすい環境の提供、そのための方針・ルール等 体制整備に取り組んでおります。 【具体的な取組み】 ・年次有給休暇の取得、長時間労働の抑制に関する方針を就業規則に 明示しております。 ・始業時は日報により報告し、夕方は管理者による進捗確認を徹底し ております。	
	ダイバーシティ 経営	多様な人材が、自身の強みを活かした働き方ができる仕組みを整え、 一人一人が活躍できる職場を目指し、組織活性化に繋げております。 【具体的な取組み】 ・現場でも女性が活躍しやすい機械及び作業の提供をしております。 ・産休・育休制度、時短・フレックス制度を整備し、女性管理職の 配置を積極的に行っております。	
環境	廃棄物の削減	組合内の事業活動で排出される廃棄木材だけでなく、他社で排出され た廃棄木材も再利用できるものは回収し、新たな製品を生み出してお ります。 【具体的な取組み】 ・廃木材を回収し、チップやおが屑に加工し、再利用しております。 ・学校机の廃天板を回収し、エレキギターや看板等を作成してあり ます。	
内部管理 組織体制	サプライチェーン 管理	組合全体として、社会的責任が果たせるよう共通認識を持ち、サス テナビリティを日々追求しております。 【具体的な取組み】 ・組合内はもちろん、取引先間においてもサステナビリティに関す る目線合わせを実施し、常に新しいものへ取組む意識を醸成してあ ります。	
製品・サービス	環境配慮設計	環境の観点から、回収・リサイクルや地域資源の活用を考慮し、特性 を活かした製品やサービスを開発・設計しております。 【具体的な取組み】 ・廃木材や不要になった木製品について、リサイクル・再利用により 別の製品に転換できる体制を構築しております。	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称です。2015年9月、国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で設定された、2030年を期限とする17のゴール(目標)と169のターゲットのことです。2030年までに、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等を是正し、気候変動に対処するなど「誰一人置き去りにしない」ための取組みを掲げています。